



# 学校だより 2月号

<http://www.ama-net.ed.jp/school/E22/>

尼崎市立浜田小学校

校長 西井 一雄

2月4日は立春。暦のうえでは春を迎える季節となりました。しかし今年は、暖かい日が続いたと思ったら、厳しい寒波がやってきて雪がちらつくなど、気候の変化がとても激しく、体調管理が難しいようです。市内の学校でも、インフルエンザなどによる学級閉鎖がたいへん増えてきました。健康には十分気をつけてください。

先日のオープンスクールには、たくさんの地域や保護者の皆様にお越しいただきました。特にマラソン大会では、子どもたちに温かいご声援をいただき、どの子も最後まで走りきることができました。本当にありがとうございました。

さて、立春の前日の2月3日が「季節を分ける」という意味を持つ節分です。節分は本来、立春、立夏、立秋、立冬の4つの季節の始まりを意味していましたが、現在は立春の前日にだけ行事として行われる事が多く、「春の始まりの前日」を意味するようになりました。

節分の豆まきは、古くは平安時代の宮中で行われていたそうです。季節の変わり目には鬼が現れるという言い伝えがあり、豆まきはその鬼を払うための行事でした。それが江戸時代の頃から一般庶民の中で行われるようになったということです。豆を悪い鬼にぶつけることにより、邪気を追い払い、一年の無病息災を願うという意义があります。

ところで、昔から恐ろしいものとされている鬼や邪気とは、物の怪や化け物という意味の他に、病気や、人の心にある悪い心という意义があります。ですから豆まきをして鬼を追い出し、福を呼び込むということは、病気にかからず、人に害を与えようとする悪い心を捨て、健康で幸せな生活が送れるように願うということなのです。

おそらく、昔もこの時期に風邪などで体調を崩す人が多く、健康や幸運を祈る行事として、節分の豆まきが行われていたのだと思います。ご家庭によってやり方はいろいろだと思いますが、大切にしたいものです。

学校では、来年度新入生の入学説明会、児童会役員選挙、本年度最後の参観・懇談と、一年間のまとめと同時に、来年度に向けての準備も始まっています。

どの子どもたちも、年度当初と比べ、心も身体も確実に成長しています。一人一人の成長には個人差がありますが、学年末を迎え、それぞれの子どもの成長に合わせた指導に取り組みたいと考えています。今後とも、ご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

## ～消してかく～

先日、5、6年生対象に「消してかく」という授業を行いました。コンテで真っ黒に塗りつぶした画面を、消しゴムで消して、現れる形から思いつくものを描くのです。目に見えているものをかくのではなく、心の中で思ったことや感じていることを描くのです。白い球を中心に、周りにゆらゆらたくさんの線が描かれている作品を描いた6年生がいました。何を描いたのか聞くと、周りに助けられて成長している自分、とのこと。卒業前の6年生にふさわしい答えだなあ、と思いました。絵は、本当に描いた人の心を映し出します。年度末、子どもたちが、作品を持って帰ります。心を寄せて見ていただけたら、嬉しく思います。もしも痛い絵を描いて持って帰ってきたなら、なおさら、子どもさんの胸中に思いを馳せていただけたら、と思います。素敵な作品を持って帰ったなら、手ばなしでほめていただければ、と思います。ほめられることで、自分ってすばらしいんだ！と自信をもって、大きくたくましく育っていきましょう。

図工専科 村松元子

## 2月の行事予定

月	火	水	木	金
		1 委員会活動	2 劇団四季(6年)	3 地区バスケットボール大会(6年)
6 朝会	7	8 クラブ活動 (3年クラブ見学)	9 校外児童会	10 児童会役員選挙 (6校時)
13 児童集会 (長なわ大会)	14 4年社会見学	15 クラブ活動(反省)	16 代表委員会 新1年生入学説明会	17 5年社会見学
20 朝会	21	22 参観・懇談(高学年) (5・6校時)	23	24 参観・懇談(低学年) (5・6校時) 北中生徒会訪問 (6校時)
27	28 3年社会見学			